

自治体SDGs推進評価・調査検討会（第6回）の開催結果について（概要）

○日時：平成30年5月22日（火）10：00～11：40

○場所：永田町合同庁舎 特別会議室

○出席委員：村上座長、秋山委員、城山委員、関委員、竹本委員、藤田委員

○実施内容：

SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の選定推薦案の最終確認、総評並びに提案自治体への都市別講評について確認を行った。

○概要

<SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の選定について>

○ SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の選定に関して、これまでの書面審査及びヒアリング結果を踏まえ、検討会における選定推薦案の最終検討を行い、選定推薦案が確認された。

○ 自治体SDGsモデル事業に関して、地域バランスに関する議論の結果、ヒアリングにおける評価点数を踏まえ、点数による上位10都市を選定推薦案とすることを決定した。

<SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の講評について>

○ 「SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の総評（案）」について、提案における全体的な評価される点や自治体SDGsに関する目標等の追記・修正が議論され、総評を確定した。

○ 「選定都市への都市別講評案」は「選定都市へのヒアリングを踏まえた委員コメント例」という題名に変更し、対象自治体に連絡の上公表することが決定した。また、コメント例については、対象都市ごとの内容の濃淡等を事務局で再度精査し、委員に書面で再度諮った上で、最終的には座長により確定する段取りが確認された。

○ 選定されなかった都市に対する講評については、各都市に個別に送付することが確認された。

＜今後のスケジュールについて＞

- SDG s 未来都市及び自治体SDG s モデル事業の選定結果については、内閣府が6月中旬を目処に公表し、その後、選定都市が3ヵ年の計画を8月末までを目安に作成することが確認された。

- 計画策定等に際して、機会があれば有識者が選定都市へ訪問し、助言等を行っていただくことを検討していることについて、事務局から説明をした。

- 自治体SDG s モデル事業の評価手法の検討に当たっては、9月から有識者に参画いただき評価手法を検討していく予定であることについて事務局から説明をした。

- 委員より、SDG s 未来都市等の講評に当たっては、自治体からの関心を高めるため、世界においてもSDG s への注目が高まっている旨をアピールすべきという意見があり、外務省（オブザーバー）より、地方創生推進室と連携しながら取り組んでいきたいとの返答があった。